

# ポラテック シェア向上でプレカット拠点強化

## 構造材、22年に兵庫

### 愛知は物流と羽柄・合板

プレカット最大のポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎代表）は今年5月、愛知県に物流機能と羽柄材・合板の加工能力を持つプレカット工場を設置する。また、構造材のプレカット工場については2022年に兵庫県で新設し、工場設置に先立つ21年に兵庫県内で支店を開設する計画だ。一連の取り組みで競争力を高め、プレカットの市場シェアをより高めることが目的。同社の北大路康信専務に、物流機能と羽柄材・合板の加工能力を持つプレカット工場を設置する目的と、来る消費税10%増税前の木造組住宅市場の「駆け込み」に関する動きなどについて話を聞いた。（北大路専務への取材時期は2018年12月）

## この人に聞く



ポラテック 専務 北大路康信氏

――物流機能および、羽柄材・合板の加工能力を持つプレカット工場を設置する目的と、来る消費税10%増税前の木造組住宅市場の「駆け込み」に関する動きなどについて話を聞いた。（北大路専務への取材時期は2018年12月）

## 配送対応で需要地近郊に

### 「買い控え」起きれば着工減も

――物流機能および、羽柄材・合板の加工能力を持つプレカット工場を設置する目的と、来る消費税10%増税前の木造組住宅市場の「駆け込み」に関する動きなどについて話を聞いた。（北大路専務への取材時期は2018年12月）

――なぜなのか。

北大路 トラックを配

車する会社にしてみれ

ば、遠方にクルマを送っ

ても1日に1回しか荷物

を積み重ねるより、2

回、3回と荷物を積める

方が良い。また、荷物を

積み重ねても長時間待た

されたら時間の無駄にな

るし、遠距離の運搬は労

働環境の問題もある。極

端な話、会社が「行け」

と言っても、運転手から

――同様の工場に

――同様の工場に

――同様の工場に

――同様の工場に

――同様の工場に

――同様の工場に

――同様の工場に

――同様の工場に

「あそこには二度と行き

たくない」言われてしま

えば、いくらプレカット

（神奈川県）、相模原

の受注があっても材の入

搬出ができず、プレカッ

トという事業自体が成り

立たなくなってしまう。

消費地の近くに工場を

出せば工場から荷物をす

ぐ運べるから、1台のト

ラックを2回転、3回転

として効率を高めること

ができ、運送会社にとっ

てメリットが大きくなる

ため、トラックをより確

保しやすくなる。それに

初めて取り組むのが、名

古屋（愛知県）だ。

名古屋工場の規模と機

家にすることができ

――構造材の加工能力

を制限する状態を11月上

旬まで続けていた。

しかし、11月上旬を境

に今度は受注が減り始

め、今はキャパシティー

の1割以上の減少でしか

オーダーが入ってこな

い。これまで能力的に請

けられなかったものも全

部請けてその状態なの

ではないか」という動き

で、木造住宅市場をめぐ

る環境がどこで変わっ

たのではないか、11月上

旬の時点で悪くなったの

ではないかと

の気がしてい

る。このため、現状はフル

キャパとまではいかない

までも、とても忙しく、

合板の出もランバーの出

も良いが、来年2月位か

ら上棟数が少し落ちてく

るのではと思っ

――プレカット受注が

11月上旬から減ってしま

った理由は、どこにある

に入ってから消費税10%

増税を控えた増税がらみ

体的にあまり良くない。

また、資産運用を目的と

したアパート建設が、二

ユーエスを騒がせた貸付施

設の販売、管理・運営公

社の倒産を発端とする金

融機関の貸し渋りと、税

金対策の建築増の影響で

物件が多くなっており、

一時の勢いが無くなって

きている。

もう一つは消費税増税

に関するもの。前回ほど

ではないが6月以降、駆

け込みと思われる受注が

散見されていて、これが

9月以降は「仮需なので

はないか」という動き

が出るようになっていた

が、先ほど言ったように

11月上旬以降は引っ込

まってきた感じだ。

――ということは、来

年の2〜3月以降、着工

減になるかもしれないと

いうことか。

北大路 その可能性も

ある。例えば「消費税は

上がるけどローン減税の

延長やポイント還元など

があるらしいし、上がっ

てから買って損にならない

みたい」との受け止

め方がエンドユーザーの

間で増えれば流れが変わ

ってくる。あくまでも仮

定の話だが、そうなる

19年の着工数が90万戸を

市場の状態。建売は一般

切ることが予測される。